

BERCニュース

経営倫理確立へ 活動さらに強化へ BERC

経営倫理実践研究センター(福原義春理事長、以下BERC)は10月から一般社団法人として新たなスタートを切った。BERCの活動は公開、公正、公平という「三公の精神」を掲げている。経営倫理・コンプライアンスの徹底推進を活動基盤とし、誠実な経営を目指す会員企業とともに、実践・研究・啓発活動を着実に推進してきた。

10月から一般社団法人に

しかし、企業社会に抜きがたい悪弊となった「総会屋」「談合」などの問題は大幅に減少したとはいえず、根絶されていない。また、各業界での真剣な取り組みの必要

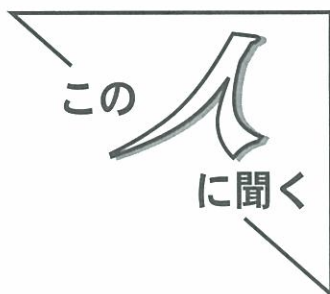
も大きな影響力を持つようになったことがある。従来からBERCが築き上げてきた特色と役割は「相互信頼のネットワークを構築する」「タイムリーなテーマを選択し、提供する」「先進的実践研究の成果を活用して、新規参入企業の

実践活動を支援する」である。今後はさらに、主に以下の3方針に重きを置いた活動を展開する。①社会の進歩ととも

携わる個々の会員の相互交流とそれぞれの人間性を錬磨する場を提供し、支援していく。

理事長 福原義春(株式会社資生堂名誉会長)▽専務理事 手島祥行(BERC事務局長)日本経営倫理学会副会長▽常務理事 松本邦明(BERC上席研究員)日本経営倫理学会常務理事▽理事 内田隆文(株式会社資生堂執行役員)

員総務部長)▽理事 小川敬雄(東京電力株式会社総務部長)▽理事 佐野廣一(横河電機株式会社)▽理事 藤井孝司(トヨタ自動車株式会社)▽理事 兵頭明彦(アコム株式会社)▽理事 古村弘幸(パナソニック株式会社)▽理事 松本隆(東京ガス株式会社)▽監事 島村昌孝(日本経営倫理学会顧問)▽監事 原田明夫(弘中総合法律事務所弁護士)



この人に聞く

05年9月に湘南国際村で開かれた経営倫理・CSR定着化セミナーのワークショップに参加してCSRの取り組みについて発表されました。熱心にやっつけられました。

うえの・もとお 80年3月 慶応大学工学部卒、昭和電工入社。84年4月中外製薬入社。医薬本部長、ロンドン駐在事務所長、取締役・中野ファーマヨーロッパ社長。04年3月代表取締役副社長執行役員。04年9月から社会責任推進担当。52歳。

社会責任果たす企業活動

〈中外製薬副社長〉上野幹夫さん

私が04年秋から社会責任推進の担当役員となつて、社外に対して当社のCSR活動についてご説明したいと思つていた矢先にセミナーがあり参加しました。当社は01年12月、スイスバーゼルに本

を作りました。統合前の中外製薬には「企業4原則(経済性、社会性、人間性、国際性の追及と調和)」という経営理念がありました。新会社のスタートに合わせ、中外製薬の考え方を具体的に表現したミッションステ

の提供を通じて新しい価値を創造し、世界の医療と人々の健康に貢献します」としています。価値観(コア・バリュー)に基づき具体的な行動規範を「中外BCG」で定めています。

「患者・消費者を最優先に考えます。生命関連企業として、常に高い倫理・道徳観に基づいて行

守③人権の尊重④公正な取引⑤会社資産の管理⑥情報の開示⑦社会貢献活動⑧地球環境保全への貢献⑨政治・行政との関係⑩外部団体との関係、などを定めています。こうした誠実な事業活動を実践し、社会の課題をステークホルダーとともに解決することが中外グループのCSRであると考えています。革新的な製品を創り出すことが、こうした当社の社会責任を果たすことに繋がるわけです。中外グループの全従業員が中

社を置く世界有数のヘルスケア企業Fホフマン・ラ・ロシュと戦略的提携を締結し、02年10月にロシュ社の日本法人であった日本ロシュと経営統合し、新生中外製薬を充足させました。これを機に、ミッションステートメント

1トメントを作ったわけです。ミッションステートメントにはどのようなことを定めているのでしょうか?

中外グループの存在意義(ミッション)を「革新的な医薬品とサービス

動します。地球環境に配慮します」などの7項目からできております。目指す姿は「ロシュ・グループの最重要メンバーとして、国内外において革新的な新薬を継続的に提供する、日本のトップ製薬企業となります」と

コンダクト・ガイドラインの略で、中外グループが公正な企業活動の実践によって社会責任を果たす具体的な行動規範です。企業倫理実践のためには①患者・消費者への責任②法の遵

インタビュー・経済ジャーナリスト 阿部和義

36号の紙面



- 2面 「トップ・マネジメントの経営倫理」刊行「監査部会で「子会社監査」など討議」II写真
- 3面 「経営倫理士」講座ニュース「視察研修バスツアー」ほか
- 4面 「亀井金融担当相モラトリアム構想」「経営倫理 我社の取り組み②」ほか
- 5面 「食品偽装 根絶ほど遠く」ネット通販 「トラブル急増」
- 6面 「地球交差点」「記者ノート」「読んだら老けないコラム」

監査部会

「子会社監査」で討議 10月 「品質評価」テーマに 9月

09年10月度のBERC監査研究部会が21日(水)、南青山会館で開かれたII写真。

10月度は集中討議会で、テーマは「効果的なグループ子会社監査」。集中討議会は、年1回の開催で監査研究部会に登録している企業が、自社の取り組みについて報告をし、その後ディスカッションを行うもので、情報の共有化と課題解決を目的としている。また、経験が



少ないなどの理由で、討議メンバーとして参加できなかった。講義で、知識やノウハウを吸収したいという理由で参加する「オブザーバー参加」枠も設けられた。

師は、松井隆幸氏(青山学院大学大学院教授)で、テーマは「内部監査の品質評価」意義、基準、方法および課題。

講演では、品質評価の意義や判断基準、評価プロセスなどの解説があった。また、品質評価実施主体の確保など評価が定着するには、基本的に品質評価を実施するベネフィットがコストを上回る必要があることや、適切な品質評価実施主体の確保などの課題があることを指摘した。

ワークライフバランスで講義(山)

CSR事例報告は九州電力

9月9日、大阪府商工会館で第3回CSR関西部会が開催された。「ワークライフバランスと労働CSRについて」と題して、経営倫理実践研究センター専任講師の桑山美恵子氏が講演した。ワークライフバランス(WLB)は「若男女の誰もが仕事、家庭生活、個人の自己啓

発等、多様な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態」と定義される。少子高齢化による就業者の減少などを背景にWLBが推進されはじめたが、日本の男女共同参画社会の国際比較順位は高くない。WLBは、福祉施策から人事戦略、さらに経営戦略

へと広義になった。モチベーション向上、生産性向上、企業イメージ向上、リスク回避へと繋がる。実践している4社の事例から、トップのリーダーシップ、経営戦略として取り組み、推進組織のあり方、意識改革と組織文化のマッチングがWLB成功のポイント。課題として、仕事大好き人間への対応、社員の自

へと広義になった。モチベーション向上、生産性向上、企業イメージ向上、リスク回避へと繋がる。実践している4社の事例から、トップのリーダーシップ、経営戦略として取り組み、推進組織のあり方、意識改革と組織文化のマッチングがWLB成功のポイント。課題として、仕事大好き人間への対応、社員の自

リスクマネジメントや初期対応の大切さ指摘

BERC倫理プログラム部会 上野客員教授が講演

BERC倫理プログラム部会が9月15日に開かれた。今回は、法政大学大学院客員教授・上野治男氏が、B

立・自律力、継続性確保などがある。企業事例の部では、「九州電力のCSRの取り組みについて」と題して、九州電力総務部CSRグループ副長の見村和嗣氏が同社のCSR推進活動について報告した。同社ではCSRの考え方を「九州電力の思い」として宣言し、九州電力グループとして、先ず、明るくしたい」という思いの要の増大、エネルギー資源制約の強まり、地球環境問題の重要性の高まりによって変化してきたことがある。

実現に向けて4つのアプローチを行う。①「地球にやさしいエネルギーをいつまでも、しっかりと」②「なるほどと実感していただくために」③「九州とともに、そしてアジアへ、世界へ」④「語り合う中から、答えを見出し、行動を」。その背景には、ライフラインである電気の安定供給事業が、世界的エネルギー需要の増大、エネルギー資源制約の強まり、地球環境問題の重要性の高まりによって変化してきたことがある。

はじめに、最近の企業不祥事の特徴として、社会が変わっても会社が変わっていないことについて説明した。社会の変化からは、市民・消費者の目が厳しくなったこと、行政・企業・専門家への不信という特権意識の否定、環境・老後に代表される社会的不安の増大、従業員の市民意識の高まりを指摘した。「会社の常識・社会の非常識」として①市民生活の安心・安全②説明の失敗(隠ぺい・虚偽の報告)③何らかの法令違反④内部告発などをあげた。これらの要因をきっかけに初期対応やリスクマネジメントの失敗が引き金となり、小さな事故が大事件になると話した。

企業の取り組みに注目 生物多様性条約シンポジウム2010目標探る

生物多様性条約COP10に向けたシンポジウム「生物多様性ポスト2010年目標とアジアビジョン」(国際自然保護連合日本委員会主催)が10月10日に国連大学で開かれた。

生物多様性条約は、「生物の多様性の保全、その構成要素の持続可能な利用及び遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分をこの条約の関与規定に従って実現すること」を目的としており、1994年に初めて締約国会議がバハマのナッソーで開かれて以来、2年おきに会議が開催されている。今回は生物多様性条約第10回締約国会議・第5回カルタヘナ議定書会議が、2010年10月に名古屋で開催される事が決まっている。

生物多様性は人類に様々な恩恵をもたらすが、IUCN(国際自然保護連合)がまとめた2006年版の「レッドリスト」によると、絶滅のおそれの高い種として5624種の動物や8171種の

植物がリストアップされている。また、日本においても、2006〜2007年に公表された環境省版レッドリストには、3155種が絶滅の恐れのある種として掲載されている。シンポジウムのセッション1では、「企業ビジネス」と「開発支援」、「自治体」、「政治、国際NGO」の各

視点からみた「ポスト2010年目標のあり方」についての講演が行われ、その後のセッション2では、研究者やバードライフアジア代表などから「2010年目標の実施のあり方」についての講演が行われた。

生物多様性は、環境問題の中でも重要なテーマでありながら、これまでは注目される。企業活動との関連性の高さが認知されるケースが少なかったが、陸域生物種の絶滅要因の多くは生息地の質の低下や喪失などであり、企業の活動域の拡大が生物多様性に大きな影響を及ぼしている事は今までもない。そのため、今後の企業の生物多様性への取り組みが注目される。

竹中平蔵氏らが対談

日経GSSRシンポジウム

第2回日経GSSRシンポジウム「地球の問題解決に向けた企業と国連、NGOの連携」(日本経済新聞社、日本経済研究センター主催)が、10月29日に日経ホ

ールで開かれた。GSSR(Global Social Responsibility)とは、地球規模の社会的責任の事で、企業の社会的責任(CSR)という概念よりも積極的な概念

として考えられている。シンポジウムの特別対談は、ジェフリー・サックス氏(コロンビア大学地球研究所長)と竹中平蔵氏(慶應義塾大学教授)が、現在私たちが直面している環境問題や貧困、人口爆発などの問題に対して企業の果たす役割について発言した。

「トップ・マネジメントの経営倫理」刊行

「トップ・マネジメントの経営倫理」が刊行された。日本経営倫理学会、経営倫理実践研究センターの監修、高橋治夫(日本経営倫理学会会長)による編著。A5判300ページ。

初めに福原義春経営倫理実践研究センター理事長の推薦の言葉。この冒頭で「人間中心の多元的な価値を持つ時代にあつて、企業経営に携わるトップ・マネジメントは、トータルなバランスの中で経営を行う必要がある」と

同書の重要性を強調している。内容は、現代企業の経営倫理を中心に第3章では、BERCニュー

企業不祥事一覧 傾向と要因分析

財界代表の提言も

同書の重要性を強調している。内容は、現代企業の経営倫理を中心に第3章では、BERCニュー

1スに掲載された企業不祥事概要一覧(2006〜08年)について、その傾向と要因について分析、注目を集めそうだ。また最終章「トップ・マネジメントの提言」では、市野紀生(東京ガス代表取締役社長)、畑中浩一(パナソニック電工代表取締役社長)、茂木友三郎(キッコーマン代表取締役会長)ら財界を代表する人々の文章が掲載されている。白桃書房刊行。3000円(税別)。

さらに、リスクコミュニケーションについても解説、なぜ危機を招いたかを危ない会社の症候群の視点から分析、危機を回避して乗り切るための方策を提示した。

「経営倫理士」講座二ニュース

視察研修
バスツアー

パナソニック電工と国民生活センター
サイバードームに感動
多様な商品テスト見学



①様々なライトの性能と特性についての比較説明に熱心に聞き入るツアー参加者②国民生活センターではこんなにやくゼリによる死亡事故予防対策とテストについて鋭い質問も...

日本経営倫理士協会(ACCBE)主催の視察研修バスツアー「現場...」が10月29日に行われた。定員30人だったが、締め切り前に定員に達し、当日は申し込んだ全員が参加した。午前中は、東京・汐留のパナソニック電工の「サイバードーム」とLEDなど最新照明の展示施設「テクノラボ」を見学、体験した。

サイバードームでは最先端技術を駆使し、都市再開発事業などの設計段階でも、完成後の立体的臨場感を体験できる。世界最大級の半球ドーム型スクリーンを持つ映像システムで、映し出された映像を疑似体験。参加者は、フランスの世界遺産、モン・サン・ミッシェルの映像の空中を浮遊したり、実際に

に現地で石段を一段ずつ登って観光するかのような疑似体験で感動の声を挙げていた。テクノラボでは、LED照明や6万時間点灯可能なエバーライト、さまざまな発色の電灯について説明があった。見学後、先行技術開発研究所の澤田部長からサイバードームについて解説があった。その後、同社24階から汐留銀座など周辺を見下ろす素晴らしい眺望を楽しみながら昼食をとった。午後は、神奈川県相模原市の国民生活センターまでバスで移動、同施設の商品テスト部を見学した。

商品テスト部では、あらゆる商品を扱っており、消費者庁発足による中期計画などさまざまな行政による要請にも応えつつ、従来からの熱心な消費者への安全確保の取り組みが紹介された。案内された商品テスト棟では、実際に死亡事故を引き起こした商品を引き取り、事故対策の採られた商品と比較するなど徹底した再現実験が行われ、対策と対応を企業に提言していることなどが解説された。参加者からは、「非常に充実した一日でした」との感想が聞かれた。

経営倫理学会で発表大会

「世界同時不況と経営倫理」を統一論題に

日本経営倫理学会(JABES)が第17回研究発表大会を10月24日、慶應義塾大学三田キャンパスで開いた。統一論題は、「世界同時不況と経営倫理」リーダーシップと組織風土のあり方。同キャンパス内のA、Dの4会場で開催された。高橋浩夫会長のあいさつで始まり、午前の部では、東洋大学の青木崇氏が、「企業不祥事のメカニズムと現代経営者の役割」を理念哲学研究部会の推薦を受け発表した。

杵屋巳吉氏ら
長唄など披露

平成21年度第29回「伝統文化ポラ賞」の贈呈式が10月15日にANAインターコンチネンタルホテル東京で行われた。財団法人ポラ伝統文化振興財団理事長・佐野文比古氏があいさつし、受賞した杵屋巳吉氏らによる長唄、三味線などが披露された。

受講者ら一段と熱心に
取得講座2回の論文提出も

日本経営倫理士協会(NPO法人)主催の「第13期・経営倫理士資格取得講座」(年間コース)は前回に引き続き、第6、11回が開講された。(第1、5回講座は既報) 第6回は、7月6日「経営倫理と法務」(辛均講師)、第10回「経営倫理と法務」(辛均講師)を受講と並行して、論文提出も2回あった。各受講生の講座への取り組みも一段と熱心になり、各講座での質問タイムでも、講師とホットなやり取りをするシーンも見られた。

「経営倫理士」講座二ニュース

企業不祥事から会社を守るスペシャリスト

経営倫理士

「第14期・資格取得講座 年間コース」受け付けスタート
来年5月開講～12月終了(各月2～3回受講)

◆主催/問い合わせ
NPO法人 日本経営倫理士協会
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-5-4 桜井ビル3F

TEL/FAX: 03-5212-4133
E-mail: keieirinrikyo@cz.blush.jp
URL: http://keieirinrikyo.blush.jp
◎ホームページから申し込むこともできます。

背景に金融機関への不信感

亀井金融担当相モラトリアム構想 「社会的責任」の自覚を

亀井静香金融担当相が提起した「モラトリアム(債務の返済猶予)構想」は、政界や金融業界、マスコミなどを巻き込んだ大騒動を引き起こしたあげく、「貸し渋り・貸しはがし対策法案」としてまとめられ、ひとまず決着した。「禁止手が経済活力を奪う」と反対論も多く、激しい論戦が展開されたが、連立与党は最終的に法案を国会に提出する道を選んだ。その背景には「晴れた日に傘を差す」例は過去にない。連立三党で協議して総合的に良い形にしてほしい」と慎重な対応を求めたのははじめ、問題点を指摘する声が相次いだ。「民間の融資条件を国の強権で事後的に変更させるなど」ということは、先進資本主義国ではあつてはならない

「小泉政権時代に改革と称する極端な市場原理主義がはびこり、利益を得るためなら何をしてもよい」という風潮が生まれ、日本の美風が廃れてしまったことに、社会は強く反発している」との認識があつたともみられる。自民党政権下では金融機関の経営危機を救うため巨額の公的資金が投入された。また長期間にわたって超低金利政策が続けられてきたこと、預金者である一般世帯から金融機関に「形を変えた補助金」が与えられてきた。その恩を金融機関は社会に返していない」とい

う不満も庶民の間に根強く残る。鳩山政権は結局、「連立を組む国民新党に振り回され過ぎ」との民主体内の反発を抑え込

暴走する私大の資金運用

詐欺・横領事件に発展

「経営の基本に立ち返れ」

昨年秋以来、多額の含み損が問題になってきた私立大学の資金運用に絡み、ついに詐欺・横領事件が発生した。被害に遭った学校法人神奈川歯科大学(横須賀市)は、計画中の付属病院新築や

でも起訴した。起訴状によると、3人は共謀して昨年10月28日と11月13日ごろ、当時の理事長に「出資してもらった10億円は6億円くらいの損が出たため凍結された。今6億円出せば、凍結が解除され10億円を救出できる」といふことを言いつて、2億5千万円の追加資金をだまし取つた、としている。

また、元理事の片方と元投資顧問は2007年4月9日ごろ、大学から振り込まれた1億円のうちの3千万円を投資せずに着服した、と起訴している。

同法人によると、財務基盤強化を目的として、05年9月から約10社の投資会社を通じて資産運用を開始した。うち5社は、元投資顧問が紹介。原資は付属病院新築などのために積み立てていた資金で、合計約10億円を投資したが、約72億円の運用損が出ていたという。

現理事長は記者会見の席上、「元投資顧問とは信頼関係があった。当初は運用益が出ていた

インタビュー 経営倫理 我社の取組み ⑳

程野譲司さんがはじめに強調したのは、「世に品を創り出します。さあ広めよう、その価値を必要とする全ての人々に」という基本理念の



程野 譲司さん

株大塚製薬工場 コンプライアンス推進部副部長

もとに各グループ会社が事業活動、コンプライアンス活動をしていきます」ということだ。さらに、「現在の当社コンプライアンス推進部は、2006年6月に発足、前身は総務部の危機管理・コンプライアンス担当部門。そのため、仕事としてはコンプライアンス全般とヘルプラインの窓口のほか、新型インフルエンザ対策などリスク対応もこなしている」とい

基本理念を幅広く浸透 衛星放送で「倫理の時間」

「このフォーラムをD VD録画し、営業部門では、営業対象エシックスの実施が行われた後の毎年2月に、1日かけて、全社エシックスDAYとしてフォーラムDVDを視聴。この後、受講終了した各

「グループ理念具現化のための当社コンプライアンス推進活動の柱は、①企業行動憲章②コンプライアンスプロ

構えから営業活動、研究開発、寄付行為、知的財産の取り扱いなど28項目を定め、確固とした企業倫理を確立・実践するための具体的指針を示しています。三番目のプロモーションコードは、製薬企業として遵守すべきプロモ

2回、1月と7月に管理職を対象に約百名規模で終日のエシックスフォーラムを実施しています。1月は東京で実施、支店長はじめ営業部門管理職、スタッフ部門、コンプライアンス推進委員が参加、7月は主に工場長、研

究所関連の部門長、コンプライアンス推進委員を対象に実施しています。ともに社長以下役員も出席します。講演を中心として、7、8名のグループに分かれてケースメソッドも導入、キメ細かい教育を実施しています」

鳴門本社でのエシックス教育でも同様にDVDを使用し、当社の衛星放送による「倫理の時間」に、何回かに分けて視聴の機会を設けている。その時々に応じた別枠放送の「倫理の時間」でも、適正なテーマを組みこんで講義形式で浸透を図っています」

最後に、「研究所、工場、各事業所における個別教育の充実、意識調査の充実をはかり教育・浸透を徹底したい。さらに今後は、ダイバースィティなどにも取り組んでいかなければ…」と次のステップへ意欲を見せている。(BERC会員企業)

ため、理事会のチェックが甘くなり投資を繰り返してしまつた」と説明。併せて、14年に計画していた付属病院新築や大学研究棟改修を凍結するほか、職員の人件費見直しなどにより経費削減を図る方針も示した。

私大が手持ち資金を運用すること自体は、違法ではない。しかし、多額の損失を出したり、詐欺・横領の被害に遭つたりすれば、運用の「暴走」とのそしりは免れない。

昨年は駒澤大学(東京都世田谷区)がデリバティブ(金融派生商品)取引で約154億円もの損失を出して、学生や父母を不安に陥れた。表に出ない含み損を抱えている私大は数十校に上るともいわれる。

私大には、株式公開企業のように財務内容をガラス張りにする義務が課せられていない。神奈川歯科大学や駒澤大学では、その「アキレス腱」が一部の理事らに悪用され、損失が拡大したとも考えられる。

大学の資産運用には、大きなリスクを避けて地道に安定した財産基盤をきずくことこそ、大学経営の基本と心得るべきであろう。(松)

企業不祥事等の概要 (2009年9~10月) (表は主要5紙を参考)

Table with 3 columns: Company Name, Date, and Description of the incident. Includes entries for 三菱商事の子会社, 学校法人神奈川歯科大学, 健康食品販売会社, etc.

(BERCニュースまとめ)

ネット通販は欠かせない存在となっている。ネット通販は、平日の昼に買い物をする時間がない人などにとって、ネット通販は欠かせない存在となっている。

ネットを利用した人... 拡大している。2008年度の全国の売上高は8兆円強となり、コンビニエンスストアや百貨店よりも規模が大きくなつた。

ネット通販は急増している。日本の通販市場は急拡大している。2008年度の全国の売上高は8兆円強となり、コンビニエンスストアや百貨店よりも規模が大きくなつた。

ネット通販は急増している。日本の通販市場は急拡大している。2008年度の全国の売上高は8兆円強となり、コンビニエンスストアや百貨店よりも規模が大きくなつた。

ニュースの断

食品にまつわる偽装問題は07年から08年にわたって、社会問題になった。船場吉兆、赤福、白い恋人の石屋製菓、ミートホープなどで、このうち船場吉兆とミートホープは市場から姿を消した。厳しい社会的な制裁を受けた。ところが09年になっても食品偽装は次々に出てきている。

内部告発で不正明らか

産地偽装として多いのは人気のあるウナギである。09年4~5月にかけて徳島県警は阿南市の食品会社と水産卸売会社の幹部3人を台湾産のウナギを徳島産と偽って徳島県内のスーパーに販売したという容疑で逮捕した。

悪質行為に制裁措置を ネット通販トラブル急増 サイト運営責任、指摘の声も

悪質行為に制裁措置を ネット通販トラブル急増 サイト運営責任、指摘の声も

悪質行為に制裁措置を ネット通販トラブル急増 サイト運営責任、指摘の声も

悪質行為に制裁措置を ネット通販トラブル急増 サイト運営責任、指摘の声も

食品偽装 根絶ほど遠く

悪質行為に制裁措置を ネット通販トラブル急増 サイト運営責任、指摘の声も

悪質行為に制裁措置を ネット通販トラブル急増 サイト運営責任、指摘の声も

悪質行為に制裁措置を ネット通販トラブル急増 サイト運営責任、指摘の声も

悪質行為に制裁措置を ネット通販トラブル急増 サイト運営責任、指摘の声も

悪質行為に制裁措置を ネット通販トラブル急増 サイト運営責任、指摘の声も

BERC入会の御案内

BERC入会の御案内... 経営倫理実践研究センター(BERC)では賛助会員の入会申し込みを受け付けています。

地球交差点

取材メモに残ることなど…

< 10 >

絵が突然、目に飛び込んでくる。思わず引きつけられて、足が自然と、その建物に向かっていたりする。

街中にあるオスロ大に、ムンクの作品「太陽」がダイナミックなスケールで壁画になっていて、燦然と輝きを誇っている。

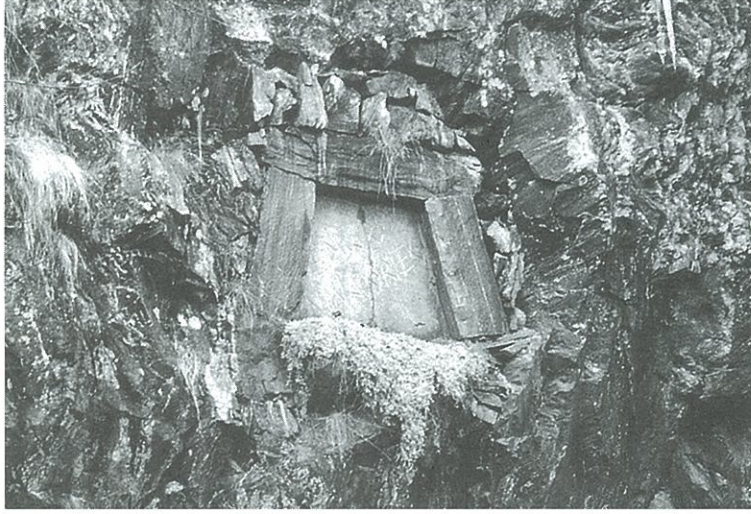
かと思えば、ムンクの名前を冠したホテルもある。泊まってみると、「マドンナ」などのムンクの作品が、ホテル

ノルウェーの文化や芸術に関心がなくとも「叫び」などの作品を残した画家エドワルド・ムンク(1863〜1944)の名は聞いたことがある。

北欧ノルウェーの首都オスロ。この街にはムンクがあふれている。数万点の作品を所蔵するムンク美術館の充実ぶりは当然として、たとえば、街を歩いていると、ムンクゆかりの建物の壁面に大きく描かれた、あの「叫び」の内

ノルウェーの画家と作曲家

ゆかりの地を探望



作曲家・グリーグが眠る墓。切り立った崖の中腹にあるノルウェー・ベルゲン郊外で

つた。絵の背景を頼りに、本などの情報なども参考にしながら、ねらいをつけてフィヨルドが望める場所を探したが、ここだといえる場所が結局、見つからなかった。

ノルウェーの第二の都市ベルゲン。14世紀にハンザ同盟に加わるなど、中世から貿易都市として栄え、古い木

内にあふれている。私造建築群は世界遺産にの部屋には、「星月夜」がかかっていた。

友人2人と歩いていると、憂うつな気分になった。フィヨルドの空と雲が血のように赤く染まり、立ちすくんだ。その時、自然を貫く叫びを聞いた。

「叫び」が描かれた場所を探してみたいと思

「検証 裁判員裁判の取材・報道」分科会では、8月から始まった裁判員制度の現状と課題について話し合われ、判決後の裁判員会見や公判前整理手続きに対する意見が出されたほか、裁判員制度を前に進めた各社の報道改革の実施状況などについて報告された。

「えん罪と報道」分科会では足利事件を中心に議論が交わされ、当事者の菅家利和さんも

に掲げ、裁判員制度や新型インフルエンザなどのテーマで各分科会に分かれ報道の役割や意義、今後のマスコミの在り方について議論した。

「検証 裁判員裁判の取材・報道」分科会では、8月から始まった裁判員制度の現状と課題について話し合われ、判決後の裁判員会見や公判前整理手続きに対する意見が出されたほか、裁判員制度を前に進めた各社の報道改革の実施状況などについて報告された。

記者ノート

今年、新聞、通信、放送、出版、広告など各報道機関から332人が参加。「変容する時代にメディアの原点を問う」をメインテーマ

マスコミ倫理懇談会 全国協議会の第53回全国大会が10月1、2の2日間、わたって松山市の松山全日空ホテルにて開催された。これはメディアの倫理向上と言論・表現の自由の確保を目的に55年に創設されたもので新聞社や放送局などによって構成されたマスコミ界のかけ橋的存在であり、毎年全国大会が開かれている。

メディアの原点を問う

マスコミ倫理懇が全国大会

「足利事件」などテーマに

的な検証や弁護士取材の重要性などを説明し

「内部分発と報道」分科会では、現職警察官科会として初めて警察の裏金問題を実名告発した仙波敏郎元愛媛県警巡査部長が講演し、警察に対する報道機関の姿勢の甘さを指摘するとともにジャーナリズムの力による裏金の断絶を呼び掛けた。

「新型インフルエンザと報道」分科会では、講師の岡田元小樽市保健所長が「一連の報道は国の発表に過剰反応してばかりで、科学的な根拠に基づき記事が少ない」と真実を伝える報道を要望した一方、新聞社側からは感染防止策や食料備蓄についての情報が読者から支持されたとの報告がされた。

これらのほか「特定商取引法と広告」「消費者保護から考える、媒体価値」などについて議論が交わされ、報道の使命と責務について深く考えさせられる有意義な会となった。

出席。当時の報道を批判し、弁護士の笹森学無罪を訴える菅家さんと注目しなかったことや当時のDNA鑑定に対する報道などを批判するとともにマスコミには捜査する側、弁護士以外の第三の視点を保つ必要があることを指摘した。当時取材した記者らも発言し、継続

「日本経営倫理士協会」への入会

日本経営倫理士協会では、現在、入会を受け付けています。

- ▽対象 経営倫理士(取得時期は問わない) 5000円(年) 現在、納付分は平成21年分。入会金なし。
- ▽会費 5000円(年) 現在、納付分は平成21年分。入会金なし。
- ▽会員特典 日本経営倫理士協会が主催するシンポジウム、各専門講座、視察見学会などの参加料金の特別割引。また、会員向けの情報提供サービスもあります。
- ▽その他 会員カード発行など。

お問い合わせ 日本経営倫理士協会

TEL/FAX 03(5212)4133

E-mail: keieirinrikyo@cz.blush.jp

読んだら 老けないコラム

今回は生殖器の仲間ですが、前号の泌尿器のつながり、高齢期の排泄に深い関わりを持つ前立腺の登場です。男性は必見、女性も身近な男性のために是非一読を。

前立腺は男性だけに、ある栗の実ほどの左右一対の臓器。膀胱の出口付近にある尿道をドーナツ状に取り囲んでいます。重さは成人で20g前後。前立腺液をつくり、精囊でつくられた精液の一部と一緒に尿道に排出する役割を担っています。

気になるのはこの加齢による影響ですが、老化では一般に委縮する臓器が多いのですが、前立腺では加齢と共に肥大するのが特徴です。もちろん全員が肥大するわけではなく、加齢で委縮する人もいますが、60歳ですでに60%ぐらいに肥大がみられます。なぜ肥大するのかは、はっきり分かっていませんが、性ホルモンの

40歳からのAge-less

ワンポイント②⑧ < 前立腺 >

問題はこの前立腺が肥大すると、排泄に影響を及ぼすことです。膀胱の出口が圧迫されるので、尿の出が悪くなったり、出るまでに時間がかかると、膀胱炎の原因にもなっています。

「歳のせいだから仕方がないか」と、つい放置しがちですが、尿閉という全く排尿が出来ない状態になると危険です。アルコールが原因で起こりやすいので、酒席を楽しむためにも早めに泌尿器科に相談を。

治療には、交感神経から伝わる刺激をブロックする薬や炎症を抑える漢方薬などの薬物療法、マイクログ波などを当てる温熱療法やレーザー治療、そして手術などがあります。

前立腺肥大が、がんに進展することはありませんが、自覚症状が似ているので要注意です。今は血液検査で簡単に分るので、トイレが気になるお年頃はPSA(前立腺特異抗原)検査も受けておく心安心です。

医療福祉ジャーナリスト おちとよこ

過剰に尿道を締めつけるので、トイレが近くなる、夜中に何度もトイレに起きる、急に行きたくなる、間に合わないといった様々なトラブルが起こつてきます。前立腺肥大は過活動膀胱の原因にもなっているのです。

講座第13期(NPO)日本経営倫理士協会主催が終了した。13年間に約30人の経営倫理士が誕生、第一線で活躍中。第14期の受講受け付けも始まる。一企業で複数の経営倫理士が在籍するケースも増えており、組織内での経営倫理浸透ということでは、より効果的であることは間違いない。(千)